

The following is the rough table of contents of the Japanese textbook, Communicating in Japanese, which has been used at the University of Chicago.

1 課から 10 課……秋学期
11 課から 17 課……冬学期
18 課から 24 課……春学期
25 課から 31 課……2 年秋学期
(2 年冬学期以降は「中級日本語」(大修館)、2 年生は第 10 課まで)

漢字の数

2 年秋学期の終了までで 書く漢字 350 ほど 読み 400 ほど

授業時間数 — 公称 150 時間

1 課

N1 は N2 です。N3 です。

助詞・N の N

て form of Copula で (専門は人類学で、二年生です。)

私は～です。/~といます。

助詞・は(私は～、専門は～)

2 課

Question N1 は…。(お名前は…。)

か (私ですか ↗) (そうですね ↘)

お+名詞 (お名前)

N1 は N2 ですか。

different intonation

助詞・で(英語で何といますか)

3 課

否定文:(N1 は)N2 じゃありません。

御+名詞 (御紹介します)

Sentence Final か (日本人じゃありませんか)

Negative Question

4 課

こ・そ・あ・ど

い形容詞

guessing (～でしょう)

S1 が S2 (汚いですがいいです)

この / その / あの / どの + Noun

い形容詞 + 名詞

Sentence Final よ (違いますよ)

5 課

な形容詞

形容詞の時制 (現在形、過去形)

こう、そう、ああ、どう

形容詞:て -form (暖かくて、いい日)

形容詞、名詞の否定文、肯定文

ここ、そこ、あそこ、どこ

6 課

Place + に (います・あります)

助詞・は(contrastive: Y 新聞はありますが、A 新聞はありません)

動詞節の簡略化 (あそこにあります → あそこです)

7 課

前置詞 (上、中、下、前、後ろ、左、右) + います / あります

Modifying a noun with two adjectives (黄色い大きい封筒)

助詞・は (contrastive: 机の上にはありません)

Vて form + ~てくれませんか

助詞・も (topical: ここにもありません)

Perfect form - discovery (～にありました)

疑問詞+でしょう (どうでしょう)

助詞・が (introducing Noun: お願いがあります、犬がいます)

8 課

数詞 (1-9999)

曜日

Plain Negative Form+ です (ないです)

助数詞 (時、分、時間、課、ページ)

時の表現 (月曜日に / 明日)

～から～まで

Replacing Predicate (何曜日にしますか → 何曜日ですか)

9 課

疑問詞+か / も…ない

から (理由)

移動動詞 (行きます、来ます、帰ります、でかけます)

助詞・へ、に (destination)

い形容詞の名詞化 (遠い → 遠く)

助詞・も (父も母も来ます)

家族の名詞

Volitional (行きましょう)

S と思います

S 1 し、(それに) S 2

N (漢語/loan word)+します

10 課

動詞: I m perfect/Perfect, Affirmative/Negative

副詞: frequency

あまり、ほとんど、全然～ない

形容詞の副詞化: 早い → 早く、簡単な

→ 簡単に

動詞: て form (…and)

Nの前(に) / 後(に)

助詞・や (新聞や雑誌)

助詞・に(purpose: ジョギングに行きました)

した)

助詞・で (cause: ジョギングで疲れた)

助詞・でも (representative: 何か用事で

も?)

名詞(Quantity: ~回、~時間)

だから、ですから

11 課

助数詞 (歳、本、冊、枚、箱、円、個、匹)

日付 (ついたち～さんじゅういちにち)

日本の数え方 (ひとつ～とお)

数字 (万、億、兆)

Nが欲しい / いる

下さい (卵を二つ～)

くだけた話し方 (ライアンさんは何才?) introduction

12 課

Noun Modification 試験がある日

plain forms

Nominalizer の

漢字を勉強するのはおもしろい

(楽しい、好きだ、退屈だ、嫌いだ)

counting people (ひとり、ふたり)

ある (ご兄弟はありますか)
adverbs (intensifier)とても、大変

しか……ない

13 課

Uses of て -forms

て+ (も) いい
て+いる
て+すみません
て+下さい/ないで下さい
て+V (気をつけて歩いてきて)

S+のです
V (stem) に+行く / 来る
ながら
plain perfect forms of verbs
S+みたいです
て+くる (toward the speaker)

14 課

temporal expressions S+ 前 / あと / てから / 時
ので (since, because)
plain volitional 行こう
を (家を出る)
まで (ここまで)
Nominalizer こと
(家内が帰ってきてから行きます)

S+と思う
時間+で (30 分で)
Sつもりだ(frame of mind)
Difference between そ and あ (それまで)
話しにくい/やすい
が and は in relation to two predicates

15 課

Uses of て -forms

て+しまう
て+おく
て+いる
て+みる
て+ある
か (上野さんか誰か)

Humble expressions (お返しする)
Strong assertion(S+ じゃないですか)
過ぎる (簡単過ぎる)
S+方がいい
(辞書の) 引き方
~まじょうか

16 課

honorific expressions(おっしゃる、いらっしゃる)
経験 (見たことがある)
可能動詞の行為者「に」(私にわかること)
文の加算「SしS」
「象は鼻が長い」の構文

完了形の名詞修飾 (眼鏡をかけた痩せた方)
では+否定的コメント (運動靴じゃ合いません)
頻度 (S+ことが多い/少ない/ない)
着脱の動詞、切る、はく、する、かぶる、脱ぐ、取る
what sort of/ what kind of こういう/こんな

17 課

原因、理由 から、ので、て、んです
義務「なければならない」
恩恵の授受「て+もらう」
接続表現 それ、それと、それで

選択式疑問文 S 1か S 2か
助詞の省略
のに (作り方はやさしいのにおいしい)

18 課

原因と結果「SとS」(運動するとのどがかわく)

形容 (動) 詞+なる

V (た) ばかりだ
S ことにしている
～ば、いい (調べればいい)
仮定「もし、～なら」
もっと+形容 (動) 詞/副詞
方法の疑問詞 どうやって

19 課

鄭重な依頼 (どうぞおかけ下さい)
可能 (英語ができる/英語が書ける)
変化 (V+ようになる)
依頼 (～てもらえませんか)
変化させる (形容 (動) 詞+する)

20 課

授受 (友達にもらった)
Nが嫌い
原因を表わす「て」(治ってよかった)
疑問詞のある疑問文の埋め込み

21 課

授受
(全部) で
方 (one of the two) () お宅の方に電話する
親族語 (息子、娘)

22 課

比較 (ふたつのもの)
Sかもしれない
(と) 同じです

23 課

なる/する (暖かくなる、行くことにする)
「たい」と助詞 (父は私をサラリーマンにしたくない)
(テーブルを机に) する
～が気になる

24 課

引用 (直接、間接)
疑問詞+助詞+でも (誰とでも)
できる (友達が～)
～てほしい
N中に (明日～)
のに

たら
ば
伝聞の「って」
できる (何かできること)
変化動詞のアスペクト (疲れる 疲れた)

謙譲 (～と申します)
仮定的「なら」(少しなら)
Vないで
状況による不可能 (わけにはいかない)
限界の表明 (早くても)

欲求の「たい」
わけじゃない
Sのに感心する/驚く/びっくりする
たら (会ったらテープを聞いていた)

Sはずだ
目 (順番を表わす) 3 ページ目
contraction て+いる/おく

最上級
Sといけない

Sみたいだ
NPについて
～なくては (否定的な意味のコメント)

疑問文の埋め込み
～てくる (電話がかかってくる)
Nについて
間に
までに
同格の「の」本屋の太田さん

25 課

思い出しの完了「交番がありましたよ」
間投表現 ね、ですね
発見の「と」(真っ直ぐ行くと信号があります)

N 中 (工事中)
「て」で文を続ける。(行って……曲がって……)
NP でいい

26 課

Hearsay S+ そうだ、って、という話だ、と聞いた
～たら、どうでしょう
～さえ……ば (時間さえあれば)
S+ といい (見つかるといいですね)
できる+N (できる学生)

adverbial use of Verbs (と行って+V、と書いて+V)
はずはない
どこ (to refer to an institution)
方 (referring to one of the two)
見える、聞こえる(spontaneity)

27 課

なら (この天気なら大丈夫だ)
らしい (雨が降るらしい)
ようだ、みたいだ
V+ずに (準備運動をせずに)
V+ (の) には
Honorific なさる

Nによると
そうだ (it looks)
V+始める / 終わる
～じゃなくて～です
あれだけ (こそあど+れだけ)
とても……ない

28 課

Passive (Introduction)
(心配することはありませんよ)
中に (今日中に)
embedded question (間違いがないかどうか目を通す)

S+ことはない
しなければ/しないと……いけない/ならない
までに (by) 何時までに出すんですか。

29 課

polite imperative V(stem)+ なさい
Passive (suffering passive) 泥棒にステレオを盗まれた
S+ように (と) +言う / 頼む
Omission of the predicate (この歌は、この頃はあまり……)

Passive (Neutral) この歌は日本人によく歌われる
～たり (～たり) する
conjugation of ちゃう (てしまう)

30 課

敬語 formality of words (うち・いえ / お宅)
Fluency and Politeness
Humble expressions
Honorific expressions おいでです、お帰りになる、ご指摘下さる、
Use of ですます forms in the middle of a S ありまして、おいででしたら
Mixing honorific forms with plain form endings あら、お待ちになってね。

directness vs. indirectness (ですか / でしょうか)
various personal pronouns
(～と申します) (いたします) (でかけております)

31 課

causative (to make sb do/ to allow sb to do)
Long form vs. short form (行かせる / 行かす)
だって (結婚式だって行かせません)
通り (おっしゃる通りにします)

causative for permission (読ませて下さい)
ために (忘れさせないために)
だけじゃなくて (熱が高いだけじゃなくて)